



多目的体育館が グランドオープンしました！

GasOneアリーナ牧之原(市多目的体育館)が、本年5月にグランドオープンしました。

体育館のメインフロアは、バスケットコート2面分の広さがあり、バレーボールは3面、バドミントンは8面などの利用が可能です。

当体育館の2階には、1周175mのランニング・ウォーキングコース(無料)や最新の機器を備えたトレーニングルームなどがあり、多くの方に利用いただいております。



さらに本年9月7日(土)、8日(日)には、当体育館でB2(プロバスケットボールBリーグの2部リーグ)のベルテックス静岡のプレシーズンゲームが開催され、市民の皆さまには本物のプロスポーツを観戦いただけます。

ぜひ、GasOneアリーナ牧之原でスポーツを観戦したり、体を動かしたりして楽しんでください。



▲ランニング・ウォーキングコース



▲メインフロア

制服のあり方を検討していきます

時代の変化に伴い、価値観の多様性や経済性などの観点から、現行の制服を迅速に見直す必要性が生まれてきました。

本市では、“制服のデザイン”を考える前に、市内中学校における“制服のあり方”を検討し、「次世代を切り拓く力」をどのように育てていくかをみんなで考える機会としていきます。

制服のあり方検討委員会（仮）準備会

実施中～R6. 9

- “制服の必要性”から議論を積み上げます。
- 多面的・多角的な考察を踏まえた議論となるよう事前調査を実施します。



制服のあり方検討委員会

R6. 10～R7. 3（予定）

必要

不必要

制服のデザイン
検討委員会（仮）

自由化に向けた
ルールづくり

R7. 4～R9. 9（予定）

「牧之原市部活動の基本方針」が 改定されました

本市では、一律に部活動を学校からなくす“地域移行”ではなく、まずは休日の部活動指導を「希望する教員」と「地域の指導者」で指導する“地域連携”を進め、部活動を持続可能なものとしていきます。そのためには、保護者と地域のご理解とご協力が必要です。

令和8年度を目標に、

- ・ 学校部活動を任意加入制へ
- ・ 休日の部活動を、3つに分類
 - ①教員が指導する部活動
 - ②部活動指導員が指導する部活動
 - ③土日の活動を行わない部活動
- ・ 平日の部活動の下校時間や運営方法の見直しを行っていきます。



学校部活動が「放課後の居場所」として果たす役割を今後も大切にし、学校教育だけでなく、生涯スポーツや社会教育と連携し、一体的に整備していきます。

学校施設の整備方針について

新しい学校施設の整備方針は、両地域に共通する大事にしたい思いや機能などのキーワードをつなげて作成しました。

学校施設の整備方針

1 ワタシをつくる ワタシの居場所・ワタシが学ぶ

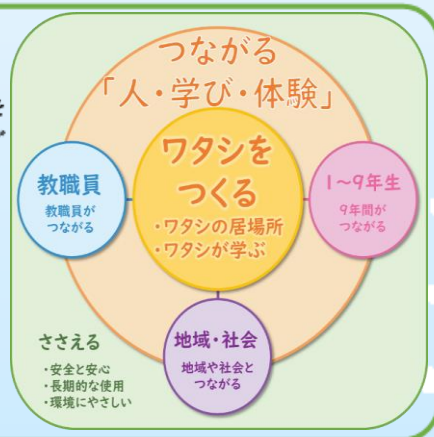
「ワタシ」とは、子ども一人一人のことです。子どもの個性や主体性を尊重できる施設とし、誰もが学校に行きたいと思え、いつでもどこでも子どもの特性に応じて快適に学べる空間をつくります。

2 つながる 「人・学び・体験」

子どもが、子ども同士、教職員、地域・社会とつながることで、多様な「人・もの・こと」に触れることができる施設とします。

3 ささえる 安全と安心

子どもの居場所となり、つながることができるよう、誰もが安心してすごせる安全で機能性と汎用性が高い施設とします。



次号からは、整備方針からつながる、施設の基本計画の内容について順次お知らせしていく予定です。

検討の過程や基本構想・基本計画の内容は、市HPからご覧ください。

<https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/site/kyouiku/list98-310.html>



<学校再編推進室 TEL：0548-53-2640>

前教育委員の寺井さんが 功労者表彰を受賞しました



前教育委員の寺井ゆみさん（任期：平成27年12月9日～令和5年12月8日）が、全国市町村教育委員会連合会より、功労者として表彰されました。

この表彰は、長年教育委員として勤め、かつ全国市町村教育委員会連合会から認められた方に贈られるものです。

静岡県では、寺井さんを含め5人が表彰されました。

<教育総務課 TEL：0548-53-2642>

まちのはら 2024を開催します♪



「こどものための こどもによるまちづくり」をテーマに、1日間の仮想都市「KIDS TOWN ぼくらのまちのはら（愛称「ぼくまち）」をつくります。

「ぼくまち」はいろいろなものや人との関わりを通して、自主性や主体性を育むことで郷土愛あふれる牧之原市の未来を担う子どもへ成長してくれることを目的としています。

みんなで『まち』を作るために、「こどもスタッフ」は7月からミーティングを行い、ルールづくりやお店の準備をしています。

当日『まち』で働いたり遊んだりできる「ぼくまち市民」は、働いたり遊んだりできる「ぼくまち市民」は、小学1年生から中学3年生までの子どもが参加できます。皆さんぜひ遊びに来てください☆

☆ぼくまちではどんなことをするの？

「まち」の市民として登録し、仕事を探し、働き、給料をもらい、買い物をしたり税金を納めたりして、参加する子どもたち全員で「まち」をつくります。



**開催
日時**

○日時：8/25（日）10：00～15：00

○会場：相良総合センター い～ら

詳しくは『まちのはら』で検索してHPをご覧ください。

<まきのはらキッズ夢サポーター 事務局090-2477-9483（社会教育課：0548-53-2646）>

HP：<http://boku-machi.net>



編集後記

子どもたちは、夏休みに入り普段の学校生活と違う日常を過ごしています。クランボルトの「計画的偶発性理論」では、自身のキャリアの8割は予想しない偶発的なことによって決定されると言われています。

私の今までのキャリアを振り返っても、偶然の出会いが私に様々な影響を与えています。

そう考えると、普段とは違う刺激と出会える夏休みは、子どもたちのキャリア形成においてとても有意義ではないのかと思いました。

まだ夏休みは始まったばかり、大人も子どもも普段とは違う行動や選択をして、自ら偶然を引き寄せることが良いのかもしれません。

<編集委員長 池ヶ谷 祐太>



○ご意見・ご感想などお待ちしております↓

発行：牧之原市教育委員会・牧之原市菊川市学校組合教育委員会

電話：53-2642 FAX：53-2657 メール：kyoiku@city.makinohara.lg.jp